

令和元年度

中南の

社会教育



次代の社会教育の担い手を育成するために！

社会教育主事講習 at 弘前大学

7月16日（火）～8月8日（木）の約4週間、青森県武道館及び弘前大学創立50周年記念会館を会場に社会教育主事講習が行われました。本講習は、社会教育主事の職務を遂行するのに必要な専門的知識、技能を習得させ、社会教育主事となりうる資格を付与することを目的としています。本年度は、秋田県14名、岩手県5名、青森県13名（うち中南管内から8名）が受講しました。

7月16日の開講式に始まり、19日までは県武道館を会場に宿泊研修が行われました。20日からは弘前大学へと会場を移し8月8日の閉校式をもって終了しました。受講科目は下の表の通りです。全169時間を受講し、単位認定を経て社会教育主事有資格者となります。

右の写真は社会教育演習の様子です。自らが選んだテーマについて各班で研究し、まとめます。各班の研究の成果は、後日発行されます社会教育主事講習報告書に掲載されます。お手にした際には、是非、一読していただければと思います。



受講者の皆さんは、地域の社会教育の担い手として、今後ますますの活躍が期待されます。

index

■ スキルアップ

- ◎ 地域と学校が連携・協働して子どもを育むために（長慶閣） 2
- ◎ 地域と学校がつながるために（弘前市総合学習センター） 2
- ◎ 大学生と思いっきり語り合いました（弘前市立裾野中学校） 3

■ ネットワーク

- ◎ ながしこ合同運行（藤崎町） 4
- ◎ こどもアート体験ひろば（弘前市） 4
- ◎ 移動博物館（大鱒町） 4
- ◎ 健康づくりスクール（西目屋村） 4

科目名	講義内容	時数
生涯学習概論	生涯学習の理念と施策	6
	社会教育の意義と展開	14
	社会教育の特徴と展開	4
	社会教育施設の意義と特徴	6
社会教育計画	社会教育計画の意味	2
	社会教育計画の方法と視点	6
	社会教育施設の経営	6
	社会教育関係職員の役割と力量形成	4
	地域課題と社会教育計画	12
社会教育演習	<テーマ> ・地域づくりと社会教育に関する研究 ・地域学校協働活動に関する研究 ・社会教育施設の諸問題に関する研究 ※上記から1つのテーマを選び演習を行います。	63
社会教育特講	地域づくりと社会教育	10
	地域学校協働活動	8
	社会的包摂と社会教育	6
	社会教育の現代的動向	22

スキルアップ

地域と学校が連携・協働して子どもを育むために

地域学校共同活動推進員等養成講座

7月16日(火)

NPO法人まちと学校の未来 代表理事 竹原 和泉 氏



7月16日(火)弘前市立中央公民館長慶閣にて地域学校共同活動推進員等研修講座が中南地方社会教育委員連絡協議会第2回研修会を兼ねて開催されました。前半はNPO法人まちと学校の未来代表理事である竹原和泉氏により「地域と学校が連携・協働して子どもを育むために～地域学校協働活動推進員の役割について～」と題して講義が行われました。学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進について、豊富な事例をもとに説明がありました。特に、社会に開かれた教育課程のために、地域の宝という空間軸を教育課程という時間軸へ変換していくことの重要性について説明がありました。講義後の質疑応答では参加者

から積極的に質問が出るなど活気あふれる講義となりました。後半のグループワークは、「地域と学校がパートナーとなるためには？」のテーマで班ごとに熱心に話し合いが行われました。アンケートの記述欄には、「子ども時代の忘れられない事のほとんどが学校以外ということにびっくりしました。地域の力がなぜ大切かということが理解出来ました。」「10年後、20年後子どもたちが我が地域で生まれて良かったと思われる活動を行っていきたく強く感じました。」等の感想が数多く寄せられ、参加者にとっては大変満足した研修会となりました。



地域と学校がつながるために 8月7日(水)



8月7日(水)弘前市総合学習センターを会場として各事業が行われました。お昼の時間には「第4回教育支援見本市」が開催されました。本見本市は、学校における教育活動の充実のため企業・NPO等が実施している教育支援活動(出前授業・インターンシップ・体験活動等)の具体的な取組をパネル展示で紹介するものです。本年度も同日の中学校教育課程説明会と同日開催したため、約100名と多数の先生方に来場していただくことができました。

午後からは、地域学校協働活動について理解の促進を図るために秋田県生涯学習センター主幹兼学習事業班長である皆川雅仁氏を講師として学校と地域を結ぶ窓口となる教職員研修が行われました。「地域とともにある学校づくりをめざして～地域学校協働活動の推進～」と題して行われた講義では、地域と学校の連携のために「目的の共有化」、「熟議」が大事であることが強調されていました。参加された先生方は地域とともにある学校づくりの意義を学んだだけでなく、今後、より推進されていくコミュニティスクールへの理解を深めていました。



大学生と思いっきり語り合いました！！

Jrキャリアサポ公開ワークショップ 8月29日(木) 弘前市立裾野中学校を会場として

青森県では「大学生とカタル！キャリアサポート形成事業」において、中学生及び高校生が自らの夢に向かって主体的に行動できるように、コミュニケーション、コーチング等の研修を修了した大学生からの働きかけにより、中・高校生にやる気や意欲を引き出し、チャレンジする心を育むためのワークショップを実施しています。



本年度の中学校ワークショップが8月29日（木）弘前市立裾野中学校で行われました。アイスブレイクのお絵かきリレーに始まり、第1ステージでは生徒自身が選んだ2人のカタルを聞きます。さらに第2ステージでは、ワークシートを用いて、これまでの自分についての振り返りを、大学生と思いっきり語り合いました。中学生は、堂々と自分の考えを大学生にぶつけ、大学生はそれを受け止めながら、新たな自分に気付くよう導いていきます。中学生にとっては、自分を見つめ直す絶好の機会となりました。



ワークシートを用いて、これまでの自分についての振り返りを、大学生と思いっきり語り合いました。中学生は、堂々と自分の考えを大学生にぶつけ、大学生はそれを受け止めながら、新たな自分に気付くよう導いていきます。中学生にとっては、自分を見つめ直す絶好の機会となりました。

事業訪問

中南教育事務所では各市町村の事業を取材し、情報の共有及びネットワークづくりを支援しています。

ネットワーク

ながしこ合同運行（藤崎町） 8月11日



藤崎町の七夕行事「ながしこ」が8月11日（日）に藤崎町役場周辺を会場として行われました。今年の合同運行には7団体が参加し、どの山車も工夫をこらした力作ぞろいでした。すべての山車が会場に入るとインタビューを交えながら各団体の意気込み、工夫した点が紹介されました。投票の結果、本年度は木挽町町内会の「忍たま乱太郎にんじゅつ学園前」が第1位となりました。

ステージイベントでは「常盤小学校スクールバンド部」「ダンスチーム」「新・藤崎音頭伝承保存会～ふじの会」「ながしこ盛り上げ隊」等の多様な発表が行われ、子どもから大人まで楽しめる内容となっていました。



ここが魅力

来場者には、ながしこ山車の人気投票券が配られ、それぞれ気に入った山車に投票します。投票権は抽選券を兼ねており、イベントの最後には、特産品などの素敵な景品が当たるお楽しみ抽選会が行われました。

こどもアート体験ひろば（弘前市） 8月18日



「こどもアート体験ひろば2019」が弘前市総合学習センターを会場に行われました。「いけばな」「籐工芸」「津軽手踊り」「茶道」「弦楽器・管楽器」「せん茶道」「打楽器」「やきもの」「写真」「ねぶた絵」「こぎん刺し」「人形作り」「書道」「絵画」のブースがあり、子どもたちは、それぞれのブースで思いっきり体験活動を行いました。制作活動等に取り組む子どもたちの目は生き生きと輝き、好きなことに夢中になる姿が印象的でした。

パンフレットがスタンプラリーのシートとなっており、スタンプを3個以上集めアンケートに答えることで記念品がもらえるため、子どもたちは大喜びでした。



ここが魅力

弘前学院大学で社会教育を専攻する2・3年生がスタッフとして参加していました。学生は運営の実際に携わることで運営者の立場・視点に立つことができていました。また、主催者としてはスタッフの確保につながっており、双方がwin-winの関係となって事業が展開されていました。

放課後子ども教室「移動博物館」（大鰐町） 8月19日



放課後子ども教室「移動博物館」が大鰐町中央公民館を会場に行われました。郷土館スタッフ4名と大鰐町放課後子ども教室スタッフ4名の指導の下、1年生から5年生までの20名の参加者はアンモナイト化石のレプリカづくりを行いました。最初に石膏をカタに流します。固まってから、黒色は墨汁で、茶色はコーヒーで着色します。最後につや出しスプレーをかけて完成です。参加した子どもたちは説明をしっかりと聞き丁寧に作品を仕上げ、できあがった作品を手に大喜びでした。



ここが魅力

石膏が固まるまで、実際の化石に触れる体験学習を行ったり、化石ビンゴを行ったりと子どもたちを飽きさせないプログラムが用意されていました。大鰐町では大鰐小学校で郷土館の出前講座を行うなど郷土館の活用が図られています。

暗門大学「健康づくりスクール」（西目屋村） 8月26日



生涯学習教室である暗門大学の「健康づくりスクール」が西目屋村中央公民館で行われました。講師は日本3B 体操協会青森県支部長である西川悦子先生はじめ4名のスタッフです。3B 体操は、子どもからお年寄り、障がいのある方も音楽に合わせて楽しくリズムカルに行うことができます。当日の参加者は11名であり、年齢層も高かったですが、ベルやベルター等の道具

を使い無理なく体操を行っていました。会場には冷たい麦茶が用意され、水分補給や休憩等の対応が適切でした。体操の次にはレクのプログラムを行い、会場には大きな笑い声が響き渡る楽しい時間となりました。



ここが魅力

参加者の年代等に合わせた選曲と適切なテンポ設定により、すべての世代で楽しめる内容となっています。また、体操、レクの内容は交流の場として大いに盛り上がるものとなっています。要請に応じて講師派遣を行っているとのことですので、詳しくは下記のURLまで

<http://www.nihon3btaisoukyoukai.jp/>